



# ホタル

平成29年 5月16日発行  
八戸市立白銀南小学校  
TEL 33-1126

## 竹の節・成長点と子ども

校長 高谷 信行

新幹線で南に旅をするとどのあたりからでしょうか、竹の林がよく目に着くようになります。主にモウソウチクという竹で、光を求めて外に向かい竹林を形成します。竹は地下茎によって繁殖し、新しくできた芽(タケノコ)は地下茎に連なる他の竹の栄養で育ちます。

竹には節が60個ほどありますが、この節の数はタケノコの時から変わりません。竹が伸びるのは節と節の間隔が広がるからで、ピーク時には1日に80センチも伸びるそうです。竹の節にある60個すべてに成長点があり、それが一斉に伸びるからなのです。



さて、先日『学校案内』という学習活動がありました。これは、二年生が一年生の手を引いて白銀南小学校の校舎の中を案内し、職員室の様子や図書室の利用目的などを説明するものです。つい1年前までは、自分たちが手を引かれ、広い校舎の中を案内してもらったばかりです。それが1年という四季の一巡りの中で、二年生は実にたくましく成長しました。毎日ほんの少しずつの成長を見てはなかなか気付きませんが、案内する立場になり、自分よりも新しい学年の子の手を取っている時にその成長ぶりを改めて感じます。子どもの案内している姿に目を細めるとともに、学校や家庭での教育の力強さが感じられます。子どもは、協力すること、我慢すること、他人をいたわり思いやることなど、人として生きていく大切な知恵やたくましさを学んでいます。子どものもつたくさんの節も確かに成長しているように思いました。

全校の子どもたちは、5月27日(土)の運動会に向けて、入場行進や競走等の練習をしています。今年は一学年が2学級ということもあり、紅白の2軍です。今年のテーマ「ゆずれない 30回目の優勝旗」のもと、徒競走や団体競技以外にも、応援や係活動などで一生懸命にがんばる子どもの姿が見られることと思います。運動会にはたくさんの方々に来場していただき、子どもたちの活躍ぶりに大きな拍手をいただきますようお願いいたします。